

中央大学学員会 中大技術士会支部 ニュースレター vol.60

会員の皆様へ

新年あけましておめでとうございます。どうやら長かったコロナ騒動も落ち着きを取り戻したようです。箱根駅伝の期待は高かったのですが、選手の体調管理の失敗からシード権を逃すという惨敗に終わりました。会員の皆様も健康管理には十分に配慮して生活いたしましょう。また、新年早々から能登地方の大震災及び羽田空港の飛行機の衝突事故が立て続けに発生しました。

私ども技術士に要求される機能の一つに「安全管理」があります。ここで「安全」についての私が環境省職員としてフクシマの復興の仕事をしたときに、安全朝礼で話した私の創作小話における珍々解釈を紹介します。

安全の「安」はウ冠に女と書きます。女性活躍社会を迎えてのようなことを言うと、フェミニストの方からは時代遅れと批判されそうですが、女の方は家の中にいれば安全です。妻のことを「嫁」とも「家内」とも言います。安全の「全」は尖った屋根のお城の中に王様がいます。王様はお城の中にいれば安全です。いったんお城を出れば戦争かもしれませんので、命さえも危険に晒されることもあります。私どもは男でまして王様でもありませんので、家族を養うために家から出て働かなければなりません。すなわち「行ってきます」と家を出てから「ただいま」と家に帰るまで仕事は常に危険と隣り合わせです。もっとも家に帰ってからも台所からフライパンが飛んでくるようなあまり安全でない家もあるかもしれません。

本会では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。中大技術士会のホームページ (<http://www.chuo-u-pej.org/>) から投稿用のフォームをダウンロードしていただき、投稿してください。今年も中大技術士会をよろしく願います。

内 容	ページ
巻頭言「新年あけましておめでとうございます」 中大技術士会会長 坂林 和重さん（電気電子部門）	2 ページ
活動報告	3 ページ
幹事会報告	3 ページ
企画部会報告	5 ページ
広報部会報告	6 ページ
大学支援部会報告	6 ページ
リレーエッセイ「地方公営企業と技術士」 中尾 愛人さん（上下水道・総合技術監理部門）	7 ページ
技術士試験合格体験記「技術士への道は波乱の人生に散在した」 長谷川 淳一さん（情報工学部門）	9 ページ
マネジメントの基礎（第2回）「経営戦略」 山下 三雄さん（建設・総合技術監理部門）	12 ページ

■ 「巻頭言 新年あけましておめでとうございます」：坂林和重さん（電気電子部門）

1. あいさつ

皆さん、あけましておめでとうございます。この原稿を書いている今は、12月下旬です。そして、この原稿を読んでもらうときは、1月です。素晴らしい新年を迎えている事と思います。箱根駅伝は、どのような結果になっているのでしょうか。感動をもたらす結果になっていることを期待したいと思います。



2. 2023年を振り返って

1) 中大技術士会

中大技術士会は、コロナ禍の影響で半年遅れの第19回総会を12月に実施しました。本来であれば、6月に実施でしたが、やむをえない遅れでした。しかし、令和5年5月8日から5類感染症に分類されたこともあり、影響は、限定的になってきました。中大法曹会と5月12日（金）に交流会が、再開できました。

第32回ホームカミングデーが、多摩キャンパスで2023年10月29日（日）に実施され、理工白門祭が、11月4日（土）～5日（日）に実施されました。中大技術士会も参加いたしました。2024年は、コロナ前の状態に戻ることを期待できそうです。

2) 第一次試験

第一次試験は、出題傾向に若干の変化があったものの現役学生が頑張ってくれました。全国国公私立大学780校の第2位をキープできました。2024年は、2月26日（月）に発表されると思いますが、何位になるか楽しみに待ちたいと思います。

3) 第二次試験

第二次試験は、出題方法に大きな変化が無いものの採点方法に変化がありました。コンピテンシー重視であることは、変化が無いですが、記述内容に重点が移ってきました。記述内容重視です。さらに近年では、試験の採点方法に変化が出てきました。中央大学卒業生の合格人数は、780校中で第25位（32名合格）と低迷しています。この採点方法の変化をいち早く取り込んで、合格者人数で、上位に食い込めるとよいと思っています。

3. 2024年への思い

2024年は、コロナ禍の影響がなくなると考えています。

CO₂環境対策技術研究会では、松川地熱発電所の見学が実施できれば良いと思います。環境にやさしい自然エネルギーを学ぶことができます。

広報関係では、HPの訪問者が増加し、ニュースレターの読者も増加して、より多くの人に中大技術士会を応援してもらえればと持っています。

白門祭やホームカミングデーでは、中大技術士会と現役学生やOB・OGとの交流が増えてくれればと思っています。また、学会他支部や大学技術士連絡協議会との交流が活発に再開できればよいと思っています。

大学支援では、「科学技術と倫理」や「キャリアデザインと倫理」の講師派遣および大学の先生の研究のお手伝いができればよいと考えています。

そして、一番重要な第一次試験合格者と第二次試験合格者の増加と中大技術士会会員の交流がさらに盛んになってくれることを祈念したいと思います。

4. 創立20年の年を迎えて

2024年度は、中大技術士会創立20年の年になります。次の10年間へ向けて全員で、新しいことにチャレンジしていきましょう。何もしなければ、何も生まれません。新しい道は、チャレンジすることから生まれます。皆様のご協力をお願いいたします。

■ 幹事会報告

行事名	開催日程	活動概要
2023年度 第3回幹事会 (WEB会議)	2023年 9月22日(金) 18:30~20:30	<p>【各部会報告】</p> <p>・総務部会報告</p> <p>①幹事に就任予定の澤田さんから自己紹介 ②10/14(土)の技術士第一次試験の模擬試験の案内 ③中大技術士会の定時総会は12/16(土)に開催 ④ホームカミングデーは10/29(日)に対面で開催され、当会からは出展ブースを設置して参加 ⑤中大技術士会創立20周年の記念誌の発行対応</p> <p>・企画部会報告</p> <p>①理工白門祭が11/4(土)~5(日)に開催され、今後の対応は追って連絡します。</p> <p>・広報部会報告</p> <p>①次回ニュースレターvol.60の巻頭言は坂林会長、編集は山下幹事が担当する。12/20:原稿締め切り、1/10:発行で進める</p> <p>・大学支援部会報告</p> <p>①今年も技術士第一次試験合格者に対して理工学部長表彰を行う予定</p> <p>・会計担当</p> <p>①中大技術士会の銀行口座がある「ゆうちょ銀行」から定時総会の議事録の提出依頼</p> <p>・グリーンインフラ研究会</p> <p>①小石川後樂園の見学を予定しているが、現在未定</p> <p>・CO2環境対策技術研究会</p> <p>①来年に松川地熱発電所の見学会を開催し、それを最後にCO2環境対策技術研究会は解散予定。</p> <p>・大技連(大学技術士連絡協議会)対応</p> <p>①2024年度の大技連の年次総会を中大で開催予定</p>
2023年度 第4回幹事会 (WEB会議)	2023年 11月10日(金) 18:30~20:15	<p>【各部会報告】</p> <p>・総務部会報告</p> <p>①10/14(土)の技術士第一次試験の模擬試験の総括 →模擬試験受験者は34名。全科目合格者は10名で少なかった。中大技術士会から幹事9名が参加し、澤田さんが模擬試験問題の解答解説を行った。</p> <p>②技術士第一次試験の合格者祝賀会は来年3/16(土)に開催予定。日本技術士会試験センターの専務理事の出席を依頼予定</p> <p>③大学支援部会の部会長を坂林会長から黒澤幹事に交代する。</p> <p>④中大技術士会の第19回定時総会の開催は、12/16(土)16:00~17:00のオンライン会議を決定。司会者や議事録署名人などは昨年と同様とする。</p> <p>・広報部会報告</p> <p>①11/3にドメイン利用料、12月にレンタル料の更新手続き予定</p> <p>②ニュースレターVol.60の原稿の締め切りは12/20の予定、Vol.61は創立20周年記念誌として発行する。</p>

	<p>③中大技術士会創立記念誌の発行をデジタル化する</p> <p>④理工学部の「たくみ同窓会」への入会を前向き検討</p> <p>・企画部会報告</p> <p>①4年ぶり対面形式で開催された多摩キャンパスのホームカミングデーには中大技術士会から3名が出席し、山下幹事と小野塚幹事が白門48会の50周年記念大会で駿河台キャンパスに出席した。</p> <p>②理工白門祭が11/4(土)～11/5(日)に後樂園キャンパスで4年ぶりに対面形式で開催された。</p> <p>③来年の令和6年度の第1回講演会は創立20周年の定時総会時の特別講演会として開催し、梅田理工学部長に講演を依頼する予定。</p> <p>・大学支援部会報告</p> <p>①技術士第一次試験合格者祝賀会を来年3/16(土)、来年度の中大技術士会創立20周年の定時総会を6/22(土)に開催することを決定した。</p> <p>・大技連(大学技術士連絡協議会)対応</p> <p>①令和6年6/20に24年度の秋の大技連(大学技術士連絡協議会)の年次総会は中央大学で開催予定</p> <p>②大技連の担当幹事に加藤幹事が加わることが承認され、今後3名体制で対応していく。</p>
--	--

○中大技術士会 第19回定時総会

行事名	開催日程	活動概要
2023年度 第19回 定時総会 (オンライン会議)	2023年 12月16日(土) 16:00～17:00	<p>1. 開会挨拶 中大技術士会坂林会長から総会の開会挨拶</p> <p>2. 議事録署名人指名 坂林会長より加藤行勝氏及び小柳拓央氏の提案があり、賛成者多数で議事録署名人に指名された。</p> <p>3. 議長選出 参加者から司会者が引き続き議長を務めるよう提案があり、賛成者多数で國島旭氏が議長に選出された</p> <p>4. 審議内容 (1) 第1号議案：2022度活動報告(案)：資料1 (2) 第2号議案：2023度活動計画(案)：資料2 (3) 第3号議案：2022度収支決算(案)：資料3 (4) 第4号議案：2023度収支予算(案)：資料4 (5) 第5号議案：第10期中大技術士会幹事(案)：資料5 →上記の第1号議案から第5号議案の全ては、賛成者多数により議案通りに議決された。</p> <p>5. 閉会挨拶 中大技術士会 武安副会長より総会の閉会挨拶</p>

■ 企画部会報告

項目	内容
ホームカミングデー	日時：2023年10月29日（日）12:00～15:00 会場：多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO F411 教室 「企業」や「現場」での技術的トラブル等の無料相談会として出店
理工白門祭	日時：2023年11月4日（土） 10:00～17:00 11月5日（日） 10:00～16:00 会場：後樂園キャンパス6号館1階ロビー 「無料相談会」として出展

ホームカミングデー・理工白門祭 報告

1. ホームカミングデー

2023年10月29日（日）に第32回ホームカミングデーが4年ぶりに対面形式にて開催され、中大技術士会は「無料相談会」として、ホームカミングデーに出店を行いました。

会場は、多摩モノレールの中央大学・明星大学駅の近くに2021年に竣工したFOREST GATEWAY CHUOで、以前の開催では、セントラルプラザのペデストリアンデッキに法曹会等の他支部と一緒にテントを並べて出店しましたが、今回はこれらの支部とともにFOREST GATEWAY CHUOの4階にある教室を使用して、中大技術士会はこのフロアの少し奥まった場所のF411教室に出店しました。

当日は、建物に来られる方が少なく、どこも閑散とした印象で、出店時間も12時から15時と短かったため、中大技術士会の教室にも数名の方がみえたのみで、技術相談会というよりは、ほとんどが技術士についての問い合わせでした。

また、前理工学部長で現在中央大学専務理事の石井靖先生も中大技術士会の会場に来ていただきました。

今年のホームカミングデーは、過去に対面で行われた時とは異なり、調理を伴う飲食と酒類の販売はなく、外から見て目立たない会場でもあったため、以前と比べると静かな印象がありましたが、最後に3階のホールで行われた福引き抽選会では、どこからともなく人が集まってきて、ここではかなりの盛り上がりが見られ、賑やかな中で終了しました。

2. 理工白門祭

2023年11月4日～5日の2日間、後樂園キャンパスにおいて、4年ぶりに対面にて第57回理工白門祭が開催され、中大技術士会も4年ぶりに理工白門祭に出展することができました。

4年ぶりの開催ということで、在学生の中では4年前の理工白門祭を知っている学生がいないため、参加方法や出展方法も4年前までとはかなり異なってしまい、中大技術士会は過去12回出展していましたが、出展に対しては戸惑うこともあり、さらに、学生ではない中大技術士会が理工白門祭に出展する理由が学生にはわからないため、どう対応して良いかわからず、最初は戸惑っていた感じでしたが、過去の出展内容を説明して、出展することができました。

出展場所は、過去出展していた6号館1階の学部事務室の前で、出展内容も4年前と同じように、技術士制度、技術士試験の説明と受験相談、一般的な技術相談を主な目的としました。

今年も4年前と同様に、昔の計算機（一般電卓、関数電卓、機械式計算機（タイガー計算機）、計算尺、パソコン（NEC PC-8001）の展示と説明を行いました。

4年間のブランクで理工白門祭の出展方法や参加の手続等も変わりましたが、中大技術士会も4年間の間に参加する人数が減ってきているため、来年度出展した際には、中大技術士会会員の皆様にもご参加いただき、運営のご協力を是非お願いします。

■ 広報部会報告

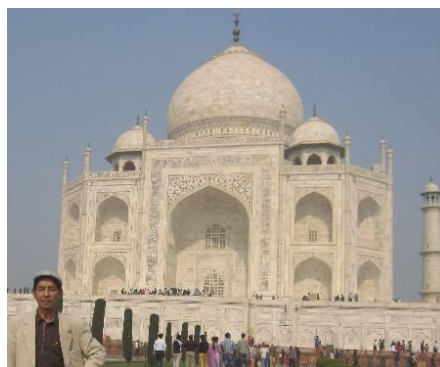
項目	内容
サーバー運営	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入会者の登録などメーリングリストのメンテナンス ・サーバーレンタルの更新手続き実施 ・第 19 回定時総会開催案内掲載 ・電気電子情報通信工学科教育技術員募集案内掲載 ・第 57 回理工白門祭出展報告掲載
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.60 の作成、発行
HP 新規掲載	ニュースレターvol.59 の掲載
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・2024 年 6 月 20 周年記念誌の準備を進めています。現在、原稿募集中です。投稿を希望される方は「toiwase@chuo-u-pej.org」まで、お問い合わせください。
会員の皆様へのお願い	<p>① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiwase@chuo-u-pej.org</p> <p>② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談など、何でも構いません。皆さんからの積極的な応募をお待ちします。</p> <p>③ 会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「<u>趣味</u>」や「<u>近況報告</u>」を共通テーマとしたリレーエッセイを (Vol.36) より開始しました。執筆依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。</p> <p>また、リレーエッセイの投稿をご希望の方は遠慮無く、toiwase@chuo-u-pej.org まで、お問い合わせください。意外な繋がりが見られるかも知れません。</p>

■ 大学支援部会報告

項目	内容															
技術士第一次試験に係る模擬試験	<p>・今年度は対面にて 10 月 14 日（土）に実施し、34 名の参加者が模擬試験に挑んだ。（結果は表のとおり。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>合格点人数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎科目</td> <td>20 名</td> <td>26 名</td> </tr> <tr> <td>適性科目</td> <td>18 名</td> <td>26 名</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>14 名</td> <td>26 名</td> </tr> <tr> <td>全科目総合</td> <td>10 名</td> <td>26 名 (合格率換算 38%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 申込者数 55 名に対して参加者数は 26 名と 6 割程度にとどまった。土曜日の開催で授業が重なった学生もあり、電気電子通信工学科の参加者数が 0 であった。</p> <p>* 参加者数の低迷は我々の PR 不足と認識をしているが、学生諸君においても自分から情報を取りに行くような意識を持ってもらうことが重要である。</p> <p>* 模擬試験の設問にあたっては、社会情勢に合ったオリジナル予想問題の準備を通して、参加者の期待に応えていきたい。</p>	科目	合格点人数	参加者数	基礎科目	20 名	26 名	適性科目	18 名	26 名	専門科目	14 名	26 名	全科目総合	10 名	26 名 (合格率換算 38%)
科目	合格点人数	参加者数														
基礎科目	20 名	26 名														
適性科目	18 名	26 名														
専門科目	14 名	26 名														
全科目総合	10 名	26 名 (合格率換算 38%)														

■ 「地方公営企業職員と技術士」 中尾 愛人さん（上下水道・総合技術監理部門）

エッセイ・コラム・ブログ等書き方は解りませんがリレーの襷が廻ってきたようで、キーワードを技術士とすればあながち当たらずとも遠からずと思い筆を取ります。駄文を読まされる対象は中大技術士会会員、あるいはたまたま中大技術士会の HP を閲覧中にリレーエッセイをクリックしてしまった学生や社会人の方でしょう。稀なことと思いますが最後まで目を通して頂けるよう頑張ってみます。



私は、関東地方 S 県の地方公営企業に 35 年間従事しました。60 歳で定年退職し、公務員でなくなったため中大技術士会に入会しました。公務員には、厳しい倫理規程が定められており、民間企業社員等との飲食やゴルフが規制されているため定年後に入会しました。

中大技術士会に中央大学から非常勤講師派遣の要請があり、1 年生対象の「科学技術と倫理」、4 年生対象の「技術者倫理」を 1 コマ担当しました。2020 年の講義は、コロナ禍で自宅 PC からリモート講義を行いました。講義の中で、公営企業という職業が学生にほとんど認知されていないことに驚かされました。私の場合は、水道事業、工業用水事業、電気事業に従事しました。

公営企業といっても公務員の身分となりますので、基本的に業務は、前例踏襲となります。私の場合は、3 年程民間企業に就職していたこともあり、仕事に対するモチベーションは、やりがいや効率化の追求などで先輩公務員職員の取り組み方と違っていたため、常に衝突していました。今で云うとパワハラに相当遭いました。

私は、他の同僚より多少知識欲（貧乏性？笑）が強く、知らないことに対して積極的に研鑽しました。具体的には、水道関係の月刊誌や業界新聞など、アンテナの指向性を高め、可能な限り他県の施設の見学や関係業界の先端技術の見学や研修へ参加しました。こうした延長線上で技術士を取得しました。民間企業の場合、技術士の資格手当がある会社もあるようですが、公務員の場合そうしたインセンティブはありません。

技術士合格のメリットと考えられることは、事務方の人事関係職員よく見ているようで、課題の多い職場へ人事異動を発令されました。他の職員と異なり、課題の多い職場への異動を喜んで受け、課題解決に挑みました。こうして、35 年間の企業局職員として 13 事業所を経験しました。

1995 年 1 月 17 日の阪神淡路地震の時は、パトカー 1 台、給水車 1 台、トラック 1 台編成の応援給水部隊の隊長として神戸市で応援給水活動しました。神戸市灘区が我々の担当エリアでしたが、時々、粉雪が舞う中で、給水車で給水地点に行くと、すぐさま多くの神戸市民が列を作り関東の S 県の我々は感謝されました。最初のうちはヤカンやペットボトルを手にして並んでいましたが、段々と日にちが経つと、ポリタンクを持って並ぶ人が増えてきました。稀に、2 個のポリタンクを手にして並んでいる人には、なるべく多くの人にいきわたる様、ポリタンクは 1 個にしてもらいました。

同じ施設を寝泊まりの基地としている、東京都水道局の部隊と、地震の被害が六甲山を超えず不幸中の幸いと夜、話しました、敦賀の原発に被害が出たら琵琶湖の水が飲めなくなってしまう可能性がありました。

座屈して元は何階建てだったかわからないビルや転倒した高速道路を見るとマグニチュード 7.3 の破壊力の大きさに驚かされました。我々の基地は、新幹線新神戸駅近くの神戸市の施設で被害が少なかったのでコンクリートの床にダンボールをひいて寝袋で休みました。食事は、毎夕方、人数分の夕、朝、昼分なのか全く同じ弁当 3 セットが神戸市から提供されました。白いご飯におかずは塩鮭とおしんこだけで飽きてしまうので、兵庫県庁付近から自前でカップ麺やスープを調達しました。三宮より東側は火災と倒壊で壊滅的被害でしたが、我々の基地から兵庫県庁がある西側は、外見上被害は見られませんでした。毎朝、被害が少なかった西側で稼働している浄水場に行き給水活動用の給水車へ飲料水を補給し、用意されていた 5 リットルの給水パックをトラックに積み、壊滅的被害の西灘を通過して神戸市水道局から指定された給水拠点の東灘区渦森台で給水活動を行いました。

渦森台では給水車の到着を親に知らせるとご褒美がもらえるらしく子供たちが自転車でパトロールしており、パトカーで給水活動開始を広報して廻りますが、たちまちのうちに長蛇の列となりました。毎回、同じ場所で給水活動を行うと、給水活動地点に近い市民の方は、遠くの人に羨ましがられたり嫌味を言われるので給水場所を変更して欲しいとの希望もありました。応援給水は、次の部隊に西宮で引継ぎ、我々の活動は終了しました。

技術士合格が多少影響しているのか、兼務辞令として工事検査員を 7 年間拝命し、企業局発注の工事の完了検査に対応しました。また、複数年工期の工事では、各年度の出来高検査として年度末、埼玉県、東京都、神奈川県、福岡県、香川県、兵庫県、大阪府、三重県、長野県等受注者の工場に出向き、中間検査を行いました。

1995 年 3 月 20 日の地下鉄サリン事件の日も検査で F 電機の吹上工場近くの食堂で昼食中テレビでとんでもないことが起こっていると知りました。

2000 年 4 月、突然、電気課への異動命令が発出されました、群馬県、東京都、神奈川県、三重県、大分県、宮崎県等、24 都道府県の自治体が水力発電を中心に公営電気事業を行っています。

私の主な仕事は、水力発電の発電電力を東京電力へ卸供給する電力料金を、数年ごとに電力料金更改することでした。料金更改は、各自治体と電力会社との相対交渉で決められ、経済産業省が了承することになっています。料金更改交渉は大変厳しく、毎週、新橋の東京電力本店へ出かけて行きました。料金が相対交渉で決まることや、電力料金が総括原価方式で決められるなど、社会一般的な常識と異なり、大変興味深いものでした。特に総括原価方式とは、掛かる全ての費用から逆に算定されるもので、所謂、絶対赤字にならない事業といわれています。

公営電気事業を行っている自治体は、公営電気経営者会議に参画し、各自治体と沖縄を除く 9 電力会社との料金更改交渉の状況の情報交換などを行います。頻繁に各電力会社ブロック間の会議が行われます、どうしても東京電力と交渉を行っている関東ブロックの交渉内容が全国のメルクマークとなります。関東ブロック以外の自治体との横の連携もあり、大分県、富山県、三重県、新潟県などにも出張しました。

公務員 35 年間を楽しく充実して卒業できました、技術士合格がそれなりに影響したものと確信しています。

技術士だからこそその経験ですが、定年退職後、JICA（国際協力機構）が上下水の技術支援しているモンゴル、ラオス、ミャンマー、ブータン、スリランカの現地事務所や支援状況をみてきました。これらの国は、技術支援は JICA に求めています、国の政策は、一帯一路の中国の方を

向いています、虚しいものを感じますが、現地の JICA 職員は（多くは地方自治体からの派遣職員）一生懸命仕事をしており、現地の上下水道関係職員には大変感謝されています。

倫理について、日本の国内では概ね共有されていると思っています。日本技術士会をはじめ日本の多くの会社や組織が概ね同様の倫理規程を定めています。

2011年3月12日15:38福島原発1号機水素爆発、関東地方の水源である奥利根水源の森が放射能で汚染されてしまいました。この時私の技術者としてのモチベーションがガクンと下がってしまいました、日本の技術レベルの低さ、東京電力の倫理観の低さを痛感しました。

2019年中国武漢でコロナウイルスが発生しました、中国は発生源であることを認めず、WHOの調査も前向きに協力しませんでした。こんなことが許されるのであれば、どんな学術論文も信用できません。私のモチベーションがまたガクンと下がってしまいました。地球規模で見ると違った価値観を持った国々が武力を以って自分に都合のいい倫理観を持っています。

中国、ロシア、イスラエル等、日本人の倫理観は通じません、日本の考え方は国連が機能することを前提としており、国連が機能不全では、日本国内だけ通用する倫理となっています。

一般市民の住宅やビルや病院を爆撃し、多くの子供を含む一般人が犠牲になっていることを正当化したり、日本人を拘束し懲役刑確定だけが知らされ、どのような罪なのかも公表されない、そういう国のコンプライアンスはどうなっているのだろうか、日本と異なることは明らかである。

中大技術士会に関わらず、OB（オールド・パーソン）の集まりの学会活動について若干気になっていることがあります。民間企業も公務員も定年延長が粛々と進んでいます。65歳まで、あるいは70歳まで身柄が事業所に拘束される割合が増えると想定されます。時間的・経済的にもある程度余裕のある学会会員が減少し、学会活動もリモートを含め活動の仕方を工夫する必要がありますでしょう。

長々と自己PRもどきのことを述べてまいりましたが、ご精読ありがとうございました。次号のエッセイの執筆は藤森顧問に襷を繋げたいと思っています、宜しくお願いします。

技術士試験合格体験記

■ 「技術士への道は波乱の人生に散在した」 長谷川淳一さん（情報工学部門）

2019年1月に「モノからサービスへ、のメリットとは」と題して寄稿して以来、久しぶりの寄稿になります。当時は、その年の末2019年12月31日から大災厄が訪れる未来を予想だにせず、普通に就社して勤務する毎日でした。

この寄稿を書き始めた前日の2023年12月9日、私は東京工業大学の蔵前技術士会にて「サイバーセキュリティからみる COVID-19 禍」と題して、私がこの大災厄にいかにか立ち向かったか技術士として講演してきました。私は今年2023年5月に、情報工学分野の技術士となっていたのです。

今回のテーマは「合格体験談」とのことです。思えば私が技術士第一次試験に合格したのは2009年。技術士合格までの道のりは私の人生の七分の一を占めるものとなりました。第二次試験を目指す方の参考になるかもしれませんので、第一次試験前に遡って試験について振り返りましょう。



2023年12月9日
蔵前技術士会にて

○第一話：「積極進取！電子情報工学との出会い」

高校で Vine Linux や C 言語、電子回路、虚数に触れたことが、全ての始まりです。2008 年までは C 言語プログラマやアナログ回路設計者の卵でした。定本トランジスタ回路の設計など、自分で本を読んで、講義を超えた範疇まで勝手に自走することを覚えたのはこのころですが、本読んで自学する素養は、のちに技術士二次試験に役立ちました。

○第二話：「邂逅相遇！誰がために物理学を学ぶ」

順当に情報学科か電気電子学科へ、とはならず中央大学物理学科へ。ただ、ここで数式、行列、テンソルを道具として使うことを覚えられたのは僥倖でした。技術士という資格を知ったのはこの頃。私は技術者志望のため、修習「技術者」を名乗れるこの資格に飛びつき、2009 年に電気電子分野で一次試験合格しました。そう、私が電子情報工学系の学科に進んでいたり、中央大学以外に行っていたりしたら、そもそも第一次試験を受験することはなかったかもしれないのです。

○第三話：「刻苦勉励！博士論文審査の試練に耐えよ」

中大物理卒のままエンジニアになるイメージがなく、東工大大学院の電子物理工学専攻に移りました。そのルートで修士卒では時間的にあまりに短く知識も付け焼き刃にしかならないので、おのずと博士号取得を目指すこととなります。専門は SiC パワーデバイスでした。

博士論文審査に一発合格する挑戦のため、技術士取得の試みは5年の中断を余儀なくされます。技術士二次試験は 2019 年からオール論述式になりましたが、私が試験に耐える論理的長文構成能力を得たのは博士課程の間でした。またこの間、新規性が認められる成果を出すハードルの高さを知りました。これは私が今後、技術士として公知の成果を出していく時に役立つでしょう。

○第四話：「人事天命！二次試験の切符への運を掴め」

2015 年 12 月、逆採用で選んだ 1 社に就職先が決まりました。博士号を取得する 2017 年 4 月まで待っていただき入社。ただ会社は安定しておらず、入社から 2019 年 7 月までに所属組織 (Dept.) は途中で 1 回変わり、また直属の上司も頻繁に入れ替わり多くは退職。さらに 2019 年 8 月には分社があり、今の私の所属先である株式会社 Works Human Intelligence が誕生しました。この状況下、私が技術士二次試験受験の資格を得ることは運任せとなり、技術士を目指すために偶然をコントロールする必要性に迫られました (ブランドハップンスタンスという理論があります)。

解説しましょう！技術士二次試験に博士課程算入 2 年 + 業務 2 年で挑む場合、「職務上の監督者の下での 4 年を超える実務経験」ルートになります。すると業務 2 年分については、指導して下さった上司等に、指導の事実を証明していただく必要があります (監督内容証明)。さらにその上司等は、業務経歴が 7 年以上あることを、その期間すべての勤務先に証明してもらう必要があるのです (監督者要件証明)。監督内容証明をしてもらいたい方が遠くに転職したり、退職してご隠居されていたりしたら、追いかけて行くのは厳しいですね。さらに監督内容証明をしていただける方が見つかって、その方が今の勤務先で勤続 7 年に満たなければ、例えば前職から社印を取得していただくなど、大きな負担をさせてしまうこととなります。

全ては運です。しかし、なるべく事を良い方向に向かわせることはできます。それは「可能な限り早く最初の受験をすること」と「1 回でも業務上の指導をいただいた縁を忘れないこと」です。私は 2019 年に受験申込書を提出しましたが、その 4 カ月後に分社という思わぬ環境の激変がありました。またお二人のベテランに監督内容証明のご協力をいただいたのですが (感謝!) うち一人は 2017 年に別 Dept. ながら偶然指導を受け、後に私が移った先の Dept. におられた方でした。

○第五話：「不撓不屈！人生最難関の資格試験に挑む」

私は株式会社 Works Human Intelligence で、サイバーセキュリティエンジニアとして、腰を据えて技術士二次試験に挑むことができる状態になりました。しかし、2019 年筆記不合格、2020 年面接不合格、2021 年には選択科目を変更する決断をしたものの2019 年より悪い成績で筆記不合格。。2022 年、私はこの年の試験で合格できなければ、技術士への挑戦を一時中断する決断をしました。合格を目指す労力の割に、実が得られず、タイパが悪いと思い始めたためです。

その矢先。桜が咲きました。

受かってみて思う事は2つ。1つ目は筆記と面接を1回ずつ落ちるつもりで受験することは悪くないということ。なぜなら、やはり受験しないと分からないこともあるからです。2つ目は試験対策コンサルタントの有効活用も一つの手だということ。2019 年の受験申込書レビューと選択科目の決定、2022 年の2回の模擬面接に、コンサルのサービスを活用しました。

○第六話：「2023 年終局への旅」

2023 年 5 月、この月に私は技術士（情報工学）となり、同時にサイバーセキュリティの専門家の称号たる CISSP にもなり、社内でも目標としていた昇格を果たしました。情報処理学会にも CITP に認定いただいたのを機に入っています。

この月で人生の第一フェーズが終わったと感じます。当面、試験や資格とはおさらばして、公知の成果を出しながら知名度を上げる挑戦をしていくことになるでしょう。CPD 活動も順調です。

いかがでしたか？なかなかジェットコースターのような合格体験だったように、私自身思います。苦勞して取るわりには、ちやほやされる資格ではないので、そこは期待せず自己の実現のために取るのがよいでしょう。とはいえ技術士（情報工学）が情報処理安全確保支援士よりも入札や公共系プロジェクトなどで求められる資格になる、技術士（情報工学）の平均年収が 800 万円を超えるなど、もう少し知名度とメリットがあるといいなとは思いますが。

最後に、二次試験合格が発表された官報を買いに行った時に、近くにあった欧風カレー発祥の地で撮った飯テロ画像を眺めてお別れしましょう。それでは、また。




2023 年 3 月 10 日 東京神田錦町の官報販売所近くにある名店「Bondy」にて

山下三雄さん（建設・総合技術監理部門）

URL：http://www.chuo-u-pej.org/katudou/newsletter/document/document_02.pdf

副題に「8つのフレームワークで競争に打ち勝とう」としましたが、これは以下の通りです。（[]内は考案者です）

- | | | |
|------------------------------|---------------------|---|
| 1. SWOT 分析 | [ハーバード大学] |  |
| 2. 3C 分析 | | |
| 3. 製品-市場マトリックス | [アンゾフ] | |
| 4. PPM（プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント） | [ボストン・コンサルタント・グループ] | |
| 5. 5F（ファイブ・フォース）分析 | | [ポーター] |
| 6. バリューチェーン | | |
| 7. 競争基本戦略 | | [ポーター] |
| 8. 競争地位上の戦略 | | [嶋口充輝] |

今後とも何か質問等がありましたら以下のメールアドレス宛にご連絡ください。

you-tomo@jcom.zaq.ne.jp

ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。 ⇒ toiawase@chuo-u-pej.org

2024年1月号 中大技術士会 広報部会 発行

中大技術士会ホームページ：<http://www.chuo-u-pej.org/>